

●パブリックコメント集計結果一覧表

対象事案の名称：「小美玉市公共施設等総合管理計画改訂版」及び「小美玉市公共施設建築物系個別施設計画」変更案

1. 意見提出者数 5人

提出方法	人数
郵便	1
ファクシミリ	0
電子申請	3
直接持参	1
合計	5

2. 意見内容及び市の考え方

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
1	その他集会施設	環境改善センターですが、学習したくても図書室にエアコンがありません。夏は暑すぎてられません。学習環境が悪いので、会議室に学習スペースを作っていただくとありがたいです。ホールの横の図書室？が適温ならそこでもいいかと思えます。	1	農村環境改善センター図書室につきまして、ご不便をおかけしており申し訳ございません。今後も利用者の皆様が快適に過ごせるよう、ご意見を参考に利用方法等も含め検討してまいります。
2	33/34ページ 義務教育学校の備考欄	小川及び玉里の義務教育学校の備考欄に、変更点として、それぞれ”令和4年4月開校「予定」”、”令和3年4月開校「予定」”と、「予定」が赤字で、追記されているが、確か今年度は令和5年の筈で、何だか、整合性が取れない感じがします。この変更点の意味は？もしかして、「本来は、開校予定だったが、未だ開校されていない！」と言う事でしょうか？但し、全体的に、これら比較表は、明確で、分かり易いと思えます。	1	赤字で記載しております「予定」につきましては、削除すべき部分として表記しております。今後も、分かりやすい資料の作成を心がけてまいります。
3	総合管理計画 97頁	厳しい財源を活用するため各施設の機能の統廃合を現人口分布に合わせて計画することは必然かと思えますが、財源を確保するための、すなわち人口を増加させるための施策を課題に追加すべきかと思料します。人口増加の糸口となる子育て環境、交通の便の向上施策に財源を当てることも長期的な市営のためには必要ではないでしょうか。人口が増えない、減るのは今より他に住みやすい所が、住みたいと思う所があるから移住するのだと思えます。仕方なく住む市にはなってもらいたくなく意見させていただきました。また基本方針第4項の資産の長期的かつ安定的な活用では遊休地等の売却が掲げられていますが、先に挙げた人口増加が達成された際は、過去統廃合した施設を再度、新設する等の必要が生じることもあるため土地は市として保有している必要があるため利活用においては賃借とすべきと思料します。例として人口増加の一助となるような複合商業施設として土地を賃借することも有効かと思料します。	1	定住・人口対策等につきましては、「小美玉市第2次総合計画」や「第2期小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、Uターンする若年層へのサポートや移住・定住促進策として住宅取得者に対する支援等を行っているところです。ご意見いただきました人口増加に向け、今後も、多くの方々が住みやすいまちづくりを進めてまいります。また、遊休地等は、所有することにより管理費用が生じることが避けられないものであり、多くの遊休地等を長期に保有することは財政上も困難なものでございます。人口推移等も考慮しつつ、真に未利用財産であるかを十分に精査した上で、賃借・売却等の手続きを進めてまいります。賃借・売却の際には、複合商業施設も含め、市の発展に寄与するものとなるよう、事業者等の選定をまいります。
4	個別施設計画18頁 その他学習施設	羽鳥駅東口複合施設 一部の人が(優先的に)利用するのではなく、多くの人が気軽に利用できるものにして欲しい。 小学校・中学校 ハーモニー・パステルの備品が充実するように、建物と一緒に計画して欲しい。	1	(仮称)羽鳥駅東口複合施設につきましては、多くの皆様に気軽にご利用いただける施設となるよう検討してまいります。 適応指導教室につきましては、今回の見直しには含まれておりませんが、いただいたご意見を参考に、支援体制の充実に努めてまいります。
5	羽鳥小学校と納場小学校の統廃合について 羽鳥駅東側市有地への複合施設の整備について	羽鳥小学校と納場小学校の統廃合について ・令和2年のパブリックコメントにおいて、羽鳥小学校と納場小学校の統廃合については、学校の在り方、教育的視点等から多くの反対意見があったが、今回の公共施設管理計画変更案においても、両校の統廃合の方向については、「2051年以降に統廃合」とあり、基本的方向は変わっておらず、その時期が先延ばしになっただけと思われる。 ・両校の統廃合がなぜ必要かなど、前回疑問視された事項について、具体的な説明がない。前回示された多くの疑問について、どのような検討をされ今回の結論に至ったのか、明らかにされたい。 ・「およそ30年後の統廃合」について、どのような根拠によって「統廃合」という結論に至ったのか、具体的に説明願いたい。 ・両校の統廃合には、反対である。 羽鳥駅東側市有地への複合施設の整備について ・人口が増加しつつある羽鳥小学校区における最大の課題は、地域住民の交流活動の拠点となる施設がないことである(岩間、友部両駅近くには最近、そのようなコミュニティ施設が整備されている)。 ・老朽化している羽鳥公民館、ふれあいセンターの機能を移管集約し、集会室、会合室、実習施設、図書館等の機能を有する複合施設の早急な整備を要望します。 ・複合施設の整備については、市の方針が示されているので、「30年後に整備」というようなことではなく、市の強いリーダーシップのもとに、5年後は難しいとしても10年後くらいには整備されるよう希望します。	1	羽鳥小学校、納場小学校ともに美野里地区の他の小学校に比べ、老朽化が進んでおり建て替えを検討する際には、移転による新築も選択肢のひとつと考えております。ただし、今回の変更案でもお示ししたとおり、老朽化している羽鳥小学校、納場小学校は直近10年間で長寿命化を図るとともに、美野里地区全域の児童数の推移などを考慮し、竹原小学校、堅倉小学校も含めた学校規模配置適正化を検討する旨のただし書きを備考欄に加筆しております。学校の整備については、教育環境の向上を第一とし、社会情勢や教育施策の動向とあわせて地域の実情等も踏まえるとともに、市民の皆さまの声にも耳を傾けながら丁寧な説明に努めてまいります。 (仮称)羽鳥駅東口複合施設につきましては、変更案でもお示ししているとおり、直近10年間の2021～2030年度に新設する方針です。より多くの皆様に気軽にご利用いただける施設となるよう、検討してまいります。
		合計	5	